

東公民館

小学校一年生が

お年寄りやさつまいも植え

6月26日（水）、雨のため延期されていたさつまいも植えが、北伊予小学校1年生69名と地域のお年寄り10名が参加して、公民館が借りている休耕田で、交流を楽しみながら行われました。

学校側もお年寄りとの交流を強く望んでおり、お年寄りの有志が集まって、ふれあい農園で交流を始めて4年目になります。

今年の4月からは、完全学校週五日制が、また、総合学



▲上手に土をかぶせましょう

習の時間も始まりました。この体験学習も植付けと収穫だけでなく、水やりや草ひきも一緒にすることにより、交流を深めていきたいと準備をしています。昨年度は収穫の後「焼き芋パーティー」をし、お芋が焼けるまでの待ち時間を利用して、「昔の遊び」を一緒に楽しみました。こま回し、けん玉、竹馬、お手玉、あや取りなどお年寄りたちも昔にかえり、頑張っていました。子どもさんの中には家族の方とあや取りをして、お年寄りに負けないくらい上手な人もいて驚きました。

さつまいもの苗ですが、葉の付け根のところから、根が出てお芋になると説明するとびっくりしていました。植え方については、説明をしたつもりではありましたが、終わって確認してみると、垂直に植えたり、ほとんど土がかけてなかつたりする苗があつて大変でした。植えるときには、畝をはさ



▲では、さつまいもの植え方について説明します

んで顔を見て、楽しく話しながら作業をしたつもりでも、結果はなかなか難しいものでした。学校での、日ごろの先生方のご苦労も忍ばれるようでした。

参加してくださったお年寄りの中には、ちょうどお孫さんがいて、本当に楽しそうにお話をしながら作業をしている方もいました。「草ひきも焼き芋パーティーも、また連絡してくださいたら、喜んで来ますからよろしくお願いします。」と言われて、企画をして良かったと思っています。東公民館ではほかに、玉葱、じゃがいも、米作り、餅つきなど小学生と楽しく交流することを計画しています。

補導センターだより

遊びの中での学び

岡田小学校生徒指導主事

大津達也

じんまん、馬乗り、貝割り、基地づくり、ごっこ遊び……。少し聞き慣れない言葉もあるでしょうが、私が、子どものころによくした遊びです。何もない田舎であったため、とにかくよく遊びました。

この遊びの中で、いろいろなことを学びました。「ここは危ない。」「このルールではおもしろくない。」「こうすれば勝てる。」など。集団の中のルール、相手を思いやる心、危険からの回避などは、遊びの中で身に付いたと思います。

ところが、最近の子どもたちは、外での遊びが減ったと言われます。時代の変化、環境の変化と言えばそれまでですが、何かさみしく思います。

また、外でよく遊んでいる子どもたちの遊びの質にも変化が見られます。例えば、ドッジボール。子どもたちは、ただボールをぶついたり、ボー

ルを捕ったりすることに楽しみを見いだしているようで、効率的にぶつけることや、ぶつけてなお自分のボールにすることなどにはあまり関心がないのです。

このことは、小さいころの遊びに一つの要因があるのではないでしょうか。特に異年齢集団での遊びの減少から、遊びの中で学ぶことが少なくなったのではないのでしょうか。

もちろん、昔と同じように遊ぶことは、現実的に難しいでしょう。そこで、大人の順番です。大人が昔の上級生役になって、共に遊ぶ中から学ばせましょう。

現在、岡田小学校を主な舞台にして、月1回遊びの広場が開かれています。また、夏休みには、PTA主催で学校でのキャンプも計画中です。遊びの中から遊ぶ機会が増えてくることを願います。